

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 3 2

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

「ADESOC」報告 ウムチョムィーザ学園 2012.6.1 チャールズ校長より

【感謝の言葉】

ウムチョムィーザ学園を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

そして、家族にとって大切な子ども達をウムチョムィーザ学園に託して下さった保護者の皆様に感謝いたします。次に、当学園で一生懸命勉強し、努力した子ども達にも「ありがとう」と感謝します。

当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜しまずに与えてくださった日本の皆様の寛大なご協力に感謝いたします。それらの支援によって、貧しくて授業料を払うことが出来ない子ども達の教育にも尽くすことが出来ました。

昨年1年間を振り返ってみました。



2011. 8 京都の中地さんの御協力によって図書室を設置することができました。子ども達は本を読む喜びを味わっています。



2011. 12 洋裁職業訓練生の卒業式に子ども達が、鍵盤ハーモニカの演奏を披露してくれました。



自分で作った服装で卒業式を迎えました。



2012. 3. 11 震災から1年経った時、当学園で日本を思っの追悼式で、日本の皆さんのために子ども達が、青年海外協力隊員の佐々木さんの指導のもとに千羽鶴を折ってくれました。

後ろのコンテナの絵もJICA職員の家族と学園の子ども達が協力して描いてくれました。

2011. 9 子ども達が家庭科の授業で野外で料理を作っています。給食室が早くできるといいですね。



2012. 1 給食プロジェクトが始まりました。

調理室を新潟の藤田さんの御協力によって建設が始まりました。



この場を借りて本校の現状をお知らせします。一つめは、優秀な教職員の確保です。物価と給

料のバランスに追いつくのは大変です。二つめは、国の制度の変化です。教育言語がフランス語から英語に変わりやっと慣れてきたところですが、今後幼稚園から小学3年生まではルワンダ語とすることになり、また、教科書等教材を整えなければなりません。三つめは、今回日本からの支援で調理室の土台工事がはじめたところですが、それに先立って塀を作ることが義務づけられました。周辺地域に信頼される学園をめざしてよりよい建設と運営をしてゆきたいと思います。

また、おかげさまで皆様から預った奨学基金を4月20日に貧しい家庭や孤児の卒業生5名に支給することができました。最初の卒業生は高校2年生になります。合計 401,500 ルワンダフラン（約 51,650 円）支給し、残金が 318,500 ルワンダフラン（約 40,973 円）あり、次の学期に支給させていただく予定です。これからも皆様の御協力をよろしくお願いします。

最後にうれしいお知らせがあります。10月に勉強が優秀な5年生3名がパリへ1週間の海外研修にフランスの平和活動をしているNGOから招待されました。学園をはじめた時から長年指導してくださっている先生に引率してもらうことにしました。

東日本大震災で大変ご苦勞なさっていることと思いますが、共に子ども達の成長を支えて明るい未来になるように活動してゆきたいと思います。



2012年1月1日～4月10日の学費の納入状況の報告

単位：人 * 時価

換算による。単位：円

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	11	17	10	7	13	14	14	20	15	121	853,715
その他	1	2	6	3	9	5	7	6	1	40	151,385
0%	1	7	3	6	8	3	7	5	6	46	0
合 計	13	26	19	16	30	22	28	31	22	207	1,005,100
予算額											1,465,010
不足金額(日本からの支援額)											459,910

※ 小学生は1学期 56,000 ルワンダフラン（約 7,200 円）

幼稚園生は1学期 51,000 ルワンダフラン（約 6,561 円）

ウムチョムイーザ学園の会計報告 1学期(1月～4月)



〔収入〕

〔支出〕

円換算

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費	1,005,100	職員への給料	1,500,620	銀行へ返済	109,522
考える会からの支援	1,445,650	光熱水費	18,871	職員への手当	36,295
入学登録料	778	通信費	8,737	教材費	55,738
バス運行収入	0	消耗品・印刷代	13,057	銀行の借金残額	337,611
水販売収入	259	車の維持費	43,943		
家畜収入(やぎ・うさぎ)	0	研修会議費	5,768		
コピー・印刷収入	46,302	設備維持経費	298,070		
個人寄付	7,842	その他の経費	1,893		
他の NGO からの寄付	0	先生へ貸し出し	52,887		
ADESOC会費	0	原材料費	51,914		
銀行からの借り入れ	32,536	給食室建設費	255,623		
先生からの返済	16,786	慶弔費	17,046		
学費未払い分返済	161,771	税金	52,645		
繰越金	4,445	小計	2,321,074	小計	539,166
合 計	2,721,470			合 計	2,860,240

差し引き -138,770



ルワンダ訪問記

宇都宮大学 二年
堀部 聖人

私は、2月25日から3月28日までの約1か月間のウムチョムウイーザ学園にインターンをさせてもらった。インターンする前に、2月16日から2月24日までの10日間、宇都宮大学主催のルワンダのフィールドワーク（現地調査）に参加し、難民キャンプの訪問や現地の大学生と「平和構築・開発」について議論を通して、ルワンダの平和構築・開発について学んだ。今回のウムチョムウイーザ学園でのインターンのテーマも、「初等教育における平和教育の役割」で、平和構築の勉強の一環としてインターンさせてもらった。

ウムチョムウイーザ学園での主な仕事は、授業を見学、学校運営や授業準備について先生



方にインタビュー、「平和」についての授業であった。ウムチョムウイーザ学園の先生・子ども達はとても優しく、自由に授業を見学させてくれたり、急遽私のために授業時間を作ってくれたり、私の調査に献身的に協力してくれた。授業見学して、一番驚いたのが授業で教科書を使っていないことである。大事なところやわかりにくいところは、先生がすべて黒板に書く。もちろん、図や絵もすべて先生たちの手書きだ。

子ども達は黒板に書かれたものをノートにすべて写し、教科書代わりにする。教科書がない分、子ども達は先生の話の一言一句見逃さないよう、真剣に聞いていた。さらに驚かされたのが、授業中に子ども達がよく動きまわることだ。最初は、「なんて落ち着きのない子ども達だ」と思っていたが、生徒たちにわけを聞いてみると、ボールペンやコンパスを友達から借りるためだと言っていた。日本では、鉛筆やコンパスなどの筆記用具を各種一人一つずつ持っているのは当たり前である。しかし、ルワンダでは筆記用具を買えない子ども達もいて、筆記用具は皆で共有して使わなければならないのだ。ルワンダで教育の現場を見て、自分が今までどれほど贅沢な環境で学習できていたかを実感した。さらに、日本ではものがありふれているために忘れがちな、一つ一つのものの大切さを改めて感じた。

休み時間は、毎回子ども達と一緒にサッカーをした。子ども達（特に男子）はサッカー大好きで、休み時間になると皆一斉に教室を飛び出し、ダッシュでグラウンドまで駆け込んでくる。ウムチョムウイーザの子ども達のみならず、サッカーはルワンダで人気急上昇中なのだ。道端でもよく子ども達がサッカーしていて、ボールがないところではペットボールをボール代わりにしてまで、サッカーをやっていた。サッカーを通してたくさんの子ども達と交流ができ、一か月という短い間だったが、ものすごく仲良くなれた。改めてスポーツの力のすごさを実感した。



最後に、私がルワンダに行って一番感じたのが、日本についてもっと学ぶべきだということだ。日本人として世界に出たときに、やっぱり求められるのは日本の情報であり、わからないでは済まされない。何かと海外に目が向きがちだが、日本を知らずして世界は語れないとこのインターンを通じて思った。「海外に行くから日本のことは知らなくてもいいや。」と思うのではなく、海外に行くからこそ日本のことを学び、日本の経験・情報を海外に広めていってほしいと思う。



2012年5月13日（日）に福島市働く婦人の家にて、総会が開催されました。

ここに2011年度の決算を報告いたします。

皆様の支援のおかげで、ウムチョムウイーザ学園では、2011年末には5回目の卒業生を送り出すことができました。全員国家試験に合格し、各地の中学校に入学することが出来ました。初めての卒業生は高校2年に進級するまでになりました。さらに、京都の中地様の支援で学園に図書コーナーを設置することができました。

昨年は特に、東日本大震災復興支援の一つとして、避難所や仮設住宅でルワンダカフェを開催したり、復興支援イベントに積極的に参加してきました。また、福島原発事故により低線量放射能にさらされている福島の子どものために、各種団体の支援を受けて、栃木県や香川県で、のびのびキャンプに68人の子ども達を参加させることができました。

2012年度役員紹介

理事長 マリールイズ
副理事長 大河原伸
副理事長 本田啓之
理事 倉持睦子
理事 斎藤照子
理事 大槻美智子
理事 穴戸なつ美
理事 佐藤俊子

スタッフ 菅野和美さんから
渡邊美香子さんに
変わりました。
よろしくお願ひします。
原則として月火水曜日
午前10時～12時事務所勤務



2011年度:

【収入の部】

項目	金額	備考
講演活動	1,685,026	講演 54 回
自立支援	1,727,947	コーヒー・紅茶・民芸品販売等
会費	470,000	正会員 5000 円×94 人
	470,000	賛助会員 10000 円×47 人
助成金	1,040,000	東日本大震災関連
寄付金等	6,569,988	1円から毎月 25 万円まで
雑収入	148	銀行利子・税還付等
繰越金	470,125	前年度より
計	12,433,234	

【支出の部】

項目	金額	備考
事業費	6,397,381	学園への援助・民芸品の仕入 国際電話・コンサート等
管理費	5,420,375	家賃・給料手当・通信費等
計	11,817,756	

【残高】

615,478 円を 2012 年度へ繰り越します。

現地「ADESOC」を支援する団体「ルワンダの教育を考える会」としてウムチョムウイーザ学園への継続的な支援及び貧しくて進学を諦めざるをえない子ども達を将来にわたって見守り支援していきたいという方針を採択しました。また、新潟の藤田様を中心に、学園への給食プロジェクトを開始し栄養状態の改善に努めていく予定です。

さらに、今年度から「ウムチョ職業能力開発校・水環境学科設立事業」として、ルワンダ東部州の給水率の低さを改善するためのサポートシステム作りを現地の人たちと共に考え実践する支援を日本の専門家と共に模索していくことを総会で承認されました。

東日本大震災復興支援にも本会としてできることを精一杯関わっていきたいと思います。

これらの事業を継続して行うために、ゆうちょ自動引き落としによる月500円からの定額寄付を行うことになりました。御理解のうえ御協力願ひます。

美味しいルワンダコーヒーを

みなさんこんにちは。私は新メンバーの栗原真と申します。
 ルワンダの教育を考える会の活動として、初めて4月8日に
 福島県白河市の南湖公園にある「魔法のランプ」というケー
 キ屋さんとランプカフェの敷地内で開かれたランプマルシェ
 というイベントでルワンダカフェに参加し、コーヒー淹れをさ
 せていただきました。



ルワンダのコーヒー豆を扱うのは初めてで、本番前に30杯ほど自宅でどんな条件で淹れたら美味しくはいるか研究してから臨みました。

当日は天気にも恵まれ、梅の花の香りのもと、たくさんの方が来てくれてゴスペルや絵本の読み聞かせなどのイベントや多様な出店の人たちとふれあったり、ルイズさんの話もあり楽しく過ごせた一日でした。



まだまだ未熟ですが機会があればまた参加してルワンダの美味しいコーヒーを一人でも多くの人たちに飲んでもらい宣伝していきたいと思います。

商品名	ルワンダ マラバ コーヒー
商品規格	ルワンダコーヒー（粉）
賞味期限	1 年
原 材 料	アラビカコーヒーブルボン種
特 徴	コーヒーはルワンダの重要な農産物です。手塩にかけて育て、手で収穫、完全洗浄、天日乾燥、一粒一粒を手で選別します。コーヒー栽培に適した自然環境と丁寧な作業が最高品質のグリーンビーンズ（生豆）を生み出します。 バランスのとれた柔らかみのある柑橘系の酸味と甘味、クリーミィなコクが特徴です。
保存方法	常温
発注方法	メール： info@rwanda-npo.org ※ 発注後 4 ～5 日後納品 送料込み

商品名 ルワンダ マラバ コーヒー		
200 g	1, 200 円	最小購入個数 5 個
300 g	1, 800 円	最小購入個数 5 個
500 g	3, 000 円	最小購入個数 2 個



ルワンダDAY in ふくしま

人形劇とパフォーマンス

7月16日(月・海の日)開催
福島市A・O・Z(アオウゼ)



◎12:00～ ルワンダ料理

○13:00～ 開場

◎13:30～ ルイズ講演

○14:30～ 劇団「赤いトマト」

今回会場で

・ルワンダの子ども達

・東日本大震災被災地支援

への募金箱を設置します。

入場無料

広告協賛募集中

みんな元気に！

★各種振替口座番号のご案内です！★

会費振込・寄付・募金（奨学基金もよろしくお願いします。）

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

本年度の会費
納入をお願い
します。

ゆうちょ口座自動振込み寄付をはじめました。第1次締め切り7月31日(火)まで、別紙申込書に記入捺印のうえ郵送願います。目標100名まで継続して募集します。

ソーラー発電…ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。（夏のコンサートに向けてボランティアスタッフを大募集中！一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。）

—編集後記—

近所のビオトープ放射能除染のために、メダカを約30匹救い出しました。

福島で明るく免疫力を高めて過ごすためにも、「赤いトマト」の人形劇を今から楽しみにしています。

NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 カベンガ・マリリス



〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX : 024-533-8289

ホームページ : <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail : info@rwanda-npo.org